

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0202	政策名	生活基盤の充実	施策主管課	道路課	課長名	重茂 猛
政策の目指す姿	生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています						
施策No	01	施策名	道路環境の充実	関係課名			
施策の目指す姿	安全で利便性の高い道路が整備されています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> ・花巻市公共施設マネジメント計画およびストック総点検に基づく長寿命化修繕計画による将来を見据えた効率的な修繕の検討と財源の確保が必要です。 ・国道4号の山の神・村崎野はボトルネックとなっていて、慢性的な渋滞がおきているが、平成31年3月29日に東北地方整備局から計画段階評価を進めるための調査箇所決定され、また、国道4号山の神地区な交差点が新規事業化された。 							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画及びストック総点検に基づく長寿命化修繕計画により効率的な修繕の検討とその財源確保を図る。 ・国道4号の山の神地区交差点改良の早期完成と花巻・北上市境における2車線区間の4車線拡幅整備の早期事業化について、「国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会」や岩手県、北上市と連携し国に強く働き掛ける。
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・橋長15m以上3橋、15m以下247橋の橋梁点検及びJ R 跨線橋（万代橋外3橋）や井戸向橋外14橋の橋梁補修設計を実施し、17橋の補修工事に着手して3橋補修工事を完了した。 ・R元.7.18、7.23、10.11「国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会」による国土交通省、財務省への要望を行い、また、市独自による要望についても、R元.6.27～28に実施し国に強く働き掛けた。こうした中、H31.3.29「山の神地区交差点改良」新規事業化に続き、R2.3.31に「国道4号北上花巻道路」が新規事業化された。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 道路の整備・維持管理</p> <p>主要幹線道路、都市計画道路、生活道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設・拡幅改良工事L=1.7km、現道舗装L=03.km、側溝整備L=1.5kmを行った。 舗装修繕等の道路環境の維持 ・舗装修繕L=8,176mのほか、道路構造物の補修を行った。 交通安全環境の整備 ・歩道の設置や歩道のバリアフリー化L=1.0kmを行った。 国・県道の整備要望 ・国県道の整備について、関係整備促進期成同盟会や市独自で複数回要望した。 ・国道4号拡幅要望（延長3km）について、昨年新規事業化された「山の神地区交差点改良」に続き早期事業化を図るため、岩手県・北上市と連携し複数回要望した。 除雪体制の効率化 ・市域全体の道路除雪（1,887 km）を実施した。また、除雪委託費計算システムや、路面状況確認用のWEBカメラを活用し効率化を図った。 <p>(2) 橋梁の整備・維持管理</p> <p>橋梁長寿命化修繕計画に基づいた橋梁の維持修繕や架け替え整備・・・橋梁の維持補修事業により、橋梁点検や補修工事を行った。</p>
--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
市道の改良率	道路の整備状況を示す指標として、市民に最もわかりやすい指標であるため。	道路改良率 = 改良済延長 / 道路実延長	%	目標値		56.30	56.50	56.70		
				実績値		56.10	56.20	56.30		
市道の舗装率	道路の整備状況を示す指標として、市民に最もわかりやすい指標であるため。	道路舗装率 = 舗装済延長（簡易舗装延長含む） / 道路実延長	%	目標値		52.40	52.60	52.80		
				実績値		52.20	52.50	52.60		
歩道の整備延長	道路整備の状況を示す指標として、市民に最もわかりやすい指標であるため	歩道延長（設置延長を路線延長で表示）	m	目標値		182,011.0	184,211.0	184,611.0		
				実績値		180,247.0	180,930.0	181,993.0		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>・令和元年度実績 改良率・・・改良済延長1,865,928m/市道実延長3,313,045m × 100 = 56.3% 舗装率・・・舗装済延長1,742,253m/市道実延長3,313,045m × 100 = 52.6% (参考) H30年度実績 改良率・・・改良済延長1,861,089m/市道実延長3,310,219m × 100 = 56.2% 舗装率・・・舗装済延長1,737,765m/市道実延長3,310,219m × 100 = 52.5%</p> <p>成果指標「市道の改良率」・・・【達成度 b】 事業が進行中の路線は複数あり、各事業の進行段階は測量調査・用地買収・工事のいずれかの状況であり、路線が工事完了まで至らないために改良済とならなかったものである。路線ごとに様々なケースがあり、事業は進んでいるものの指標に反映されなかった 成果指標「市道の舗装率」・・・【達成度 b】 市道の改良率と同様の理由により、事業は進んでいるものの指標に反映されなかった。 成果指標「歩道の整備延長」・・・【達成度 b】 市道の改良率と同様の理由により、事業は進んでいるものの指標に反映されなかった。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし。
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>・生活道路整備事業や交通安全環境整備事業において、支障物件（電柱等）の移設、また、地権者との交渉に時間を要したことにより目標値を下回る結果となったが、成果の向上のため、発注計画や発注時期の検討に努める。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
なし。

5 施策の総合的な評価

課題
<p>・道路法に基づく5年に1回の定期点検（橋梁、トンネル）の点検経費や修繕経費も加わるため、将来を見据えた計画的に効率の良い修繕と財源の確保が必要である。 ・北上工業団地周辺では企業立地も活発化し、国道4号の渋滞がさらに深刻化することが懸念され、周辺市道における歩行者の安全対策も急務であることから、早期の整備が必要である。</p>
今後の方向性
<p>・公共施設等総合管理計画及びストック総点検に基づく長寿命化修繕計画により効率的な修繕の検討とその財源確保を図る。 ・国道4号の山の神地区交差点改良の早期完成と花巻・北上市境における2車線区間の4車線拡幅整備の事業推進について、「国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会」や岩手県、北上市と連携し国に強く働き掛ける。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
			直結度		
010	生活道路維持事業費	道路	一致	直結	B
	生活道路の安全・安心を確保するため、修繕や補修、除排雪の維持管理を行う。 (舗装修繕 8.1 km、補修件数 291件、市域全体の除雪回数 3回)				
			A		
020	生活道路整備事業費	道路	一致	直結	B
	安全で快適な道路網を構築するため、市道の新設・拡幅改良及び現道舗装、側溝整備を行う。 (道路改良 1.7 km、現道舗装 0.3 km、側溝整備 1.5 km、防雪柵 2箇所)				
			A		
030	花巻スマートインターチェンジ整備事業費	道路	一致	直結	-
	花巻パーキングエリアにスマートインターチェンジを設置する。 (国・県・市・NEXCO・県警・民間団体・地域関係者で構成される地区協議会を開催。R元.9.27新規事業化が決定)				
			A		
040	橋梁維持事業費	道路	一致	直結	C
	予防保全型維持補修により橋梁の長寿命化を図り、通行の安全を確保する。 (250橋点検、18橋の補修設計、17橋の補修工事を実施し3橋完了。)				
			A		
050	交通安全環境整備事業費	道路	一致	直結	B
	歩行者の安全・安心を確保するため、歩道の設置やバリアフリー化等の整備を行う。 (歩道設置 1.0 km)				
			A		
060	道の駅整備事業費	道路	間接・少数	直結	-
	道の駅を核とした地域の連携強化を図るため、整備を行う。 (整備件数 1件)				
			B		